

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	オネット
住 所	千葉県千葉市中央区今井2-1-8 J COURT SOGA1階
電話番号	043-312-3480

事業所番号	1210103386
管理者名	砂塚 真智子
対象年度	令和6年度

（Ⅰ）労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

（Ⅱ）生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤－10点 ⑥－20点		点

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		7点
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		7点
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		点
（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5点
（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
140点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	54,723.75	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	13,166	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.16	時間
-----------------------------	-----------	----	-------------------	--------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	56,576,835	円	利用者に支払った賃金総額	65,268,871	円	収支	▲ 8,692,036	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	73,183,215	円	利用者に支払った賃金総額	72,537,504	円	収支	645,711	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	74,046,297	円	利用者に支払った賃金総額	73,004,439	円	収支	1,041,858	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名 「障がい者支援の基礎 “支援者の虐待を防ぐ”」	
研修講師 山内 晋也 (社会福祉法人武蔵野会リアン文京 施設長)	
実施日・受講者数 4月 5日 ～ 11人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名 実践報告会	
実施日 6月 26日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ A型事業所の取り組み	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業所の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名 株式会社レント	
実施日/参加者数 5月 30日 2人	
※他の事業所名	
実施日/参加者数 月 日 人	

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名 シャベリバイン募張	
主催者名 Rococo(ロココ)	
日時 5月 20日	
内容 販路拡大のための名刺交換会、交流会	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日 令和3年 3月 1日	
人事評価制度の対象職員数 10名	
うち昇給・昇格を行った者 名	
当該人事評価制度の周知方法	
人事評価実施の案内を全事業所に掲示。同案内を全社メールにて通知。	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間 月 日～ 月 日	
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日 月 日	
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日

※経営改善計画の提出を求められていない。

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	オネット
住所	千葉県 千葉市中央区今井二丁目1番地8 J COURT SOGA1階
電話番号	043-312-3480

事業所番号	1210103386
管理者名	砂塚 真智子
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要	
〈活動内容〉 活動場所： 株式会社 TNX (伊丹産業倉庫) 実施日程： 2022年2月1日～現在 実施した生産活動・施設外就労の概要： 毎週日曜日から土曜日まで週7日 午前部 (9時30分～13時30分) 利用者7名 支援従事者 1名	〈活動の様子〉   
〈目的〉 ・施設外就労を通じた、地域企業での新たな障害者の働く場所の開拓 ・人材不足の解消 ・利用者の技術向上	
〈成果〉 ・障害者雇用につながる取り組みとして、施設外就労を理解して頂き就労場所の確保ができた。 ・利用者の技術 体力 精神力 チーム力も向上している。 ・効率化や時間配分を意識して作業に取り組むことができるようになった。 ・作業効率(作業量 作業正確 作業速度)や生産性の向上に繋がった	

連携先の企業等の意見または評価			
・業務委託から2年が経過しましたが、人材不足で悩んでいた時期を千手皆様の力を借りて、人材不足の解消ができております。 ・利用者の方の個人差はありますが、作業に慣れて生産性も上がっていますので今後も期待できると思います。 ・新しい利用者の方の働く機会を増やせればと考えています。 ・ユニットの増員			
連携先企業名	株式会社 TNX (伊丹産業倉庫)	担当者名	新井 大介 様

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	オネット
住所	千葉県 千葉市中央区今井二丁目 1 番地 8 J COURT SOGA1階
電話番号	043-312-3480

事業所番号	1210103386
管理者名	砂塚 真智子
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
〈 活動内容 〉 活動場所： オネット 事業所内 実施日程： 2024年7月23日(火) 実施した取り組みの概要： ・ ビジネスマナー研修を実施 ・ 衛生管理研修を実施（手洗いと手指消毒） 利用者 7名	〈 活動の様子 〉  
〈 目的 〉 ・ ビジネスマナーの取得 ・ 社会人スキルの向上 ・ 食中毒対策の為、衛生管理 体調管理 （正しい手洗い 手指消毒）	
〈 成果 〉 ・ 挨拶 言葉使い 身だしなみの意識が高まった ・ 信頼関係の構築 ・ コミュニケーションの円滑化 ・ 身だしなみを気をつけるようになった ・ 衛生管理についての知識が高まった ・ 挨拶の声が大きくなり、企業側からも褒めていただくことが多くなった ・ 一般就労に対しての意識が高まり、目標を決めて一般就労を考えるようになっている	

連携先の企業や事業所等の意見または評価			
・ 事業所内でビジネスマナー研修を行っていただき、挨拶や言葉使いを気にする利用者さんが増えてい ます。 ・ 企業側のパート従業員との関係性も良くなっていて、利用者さんの社会人としてのスキルも上がってい ます。 ・ 食品加工の為、衛生管理研修に指導員の方が参加してくれて、研修を実施しました。事業所内で、指導員 の方から利用者さんへの研修を行っていただき、衛生管理については意識して作業に取り組んでいただい ています。			
連携先企業名	株式会社 東セン貿	担当者名	工場長 佐藤 保 様
利用者からの意見・評価			
・ 企業の方に挨拶や言葉使いを気にするようになった。 ・ 衛生管理についてのマニュアルを読み、気を付ける点をきちんと理解できるようになった。 ・ 一般就労について考えるようになった。			